

評価基準：【A…よくあてはまる B…ややあてはまる C…あまりあてはまらない D…まったくあてはまらない】

番号	分類	評価の観点	評価項目	設問	評価				あてはまる (A+B)		あてはまらない (C+D)	
					A	B	C	D				
1	学校運営	学校への帰属意識	校訓について	本校の建学の精神(校訓)を理解し、教育活動にあたっている。	24 (35.82%)	35 (52.24%)	7 (10.45%)	1 (1.49%)	88.1%		11.9%	
2		教育課程	教育課程の実践について	昨今の学校教育内容そのものや、教育情勢・教育環境の変化に対応し、且つ進学校としてニーズに応える年間教育計画に基づいた授業実施に、各教科担当者は努めている。	17 (25.37%)	43 (64.18%)	6 (8.96%)	1 (1.49%)	89.6%		10.4%	
3		教職員の連携	教員の連携による教育実践について	教員間の信頼関係のもと、生徒の学校生活向上のため様々な教育的情報交換を積極的に行い、教育活動に活かせるように努めている。	16 (23.88%)	35 (52.24%)	12 (17.91%)	4 (5.97%)	76.1%		23.9%	
4			教員と事務職員間の連携について	対外的にも学内的にも、学校業務が円滑にまた正確に遂行できるよう、教員と事務職員は平素より適正な意思疎通に努めている。	22 (32.84%)	34 (50.75%)	9 (13.43%)	2 (2.99%)	83.6%		16.4%	
5			会議について	職員会議をはじめ、学年会議、生指会議、進路会議、又適宜開催する各種会議は、時間的制約がある中でも有効的、且つ効果的に運営されるよう職員は努めている。	12 (17.91%)	40 (59.70%)	13 (19.40%)	2 (2.99%)	77.6%		22.4%	
6		情報公開	ホームページの活用について	ホームページでは学校情報、及び行事やクラブに伴う生徒の活動内容が速やかに、且つ効果的に公開されている。	18 (26.87%)	34 (50.75%)	13 (19.40%)	2 (2.99%)	77.6%		22.4%	
7			学校・分掌・学年・学級の情報について	学校・分掌・学年・学級から生徒・保護者へ情報提供は適切になされている。又、Classiによる一斉配信も効果的に活用されている。	23 (34.33%)	39 (58.21%)	5 (7.46%)	0 (0.00%)	92.5%		7.5%	
8			授業公開について	保護者に対する授業公開(参観)や入試説明会時での授業公開(参観)は、定期的、且つ効果的に実施されている。	29 (43.28%)	31 (46.27%)	6 (8.96%)	1 (1.49%)	89.6%		10.4%	
9		危機管理	危機管理対応状況について	危機管理マニュアルに基づき、警察・消防等との連携を緊密にし、訓練などを通じ学校安全の意識を高めよう努めている。	13 (19.40%)	36 (53.73%)	15 (22.39%)	3 (4.48%)	73.1%		26.9%	
10			役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担・体制が出来ている。	10 (14.93%)	33 (49.25%)	21 (31.34%)	3 (4.48%)	64.2%		35.8%	
11		地域に開かれた学校づくり	学校開放について	クラブ活動や模試・検定等の会場校として、またその他の行事においても実施内容に応じて学校の施設・設備を地域・関係者に適切に貸与している。	21 (31.34%)	31 (46.27%)	13 (19.40%)	2 (2.99%)	77.6%		22.4%	
12			地域交流について	文化祭や大規模な天体観測会に加え、定期開講の生涯教育セミナー等を通じ、地域住民との交流に努めている。	14 (20.90%)	37 (55.22%)	11 (16.42%)	5 (7.46%)	76.1%		23.9%	
13	人権教育	研究・研修体制	人権尊重に関する様々な課題や指導方法を研究する組織はしっかり機能している。また職員や保護者を対象とする研修会が定期的に、且つ効果的に開催されている。	15 (22.39%)	40 (59.70%)	9 (13.43%)	3 (4.48%)	82.1%		17.9%		
14		教育体制	各学年で適切なテーマを設定し、人権尊重の意識を高める教育・学習が定期的に、且つ効果的に行われている。	17 (25.37%)	37 (55.22%)	11 (16.42%)	2 (2.99%)	80.6%		19.4%		
15	支援教育	研究・研修体制	支援教育活動を実践するにあたり、関係者で各ケースに応じて実情・実態を分析・共有し、適切な体制作りを活かすよう努めている。	11 (16.42%)	35 (52.24%)	17 (25.37%)	4 (5.97%)	68.7%		31.3%		
16		教育体制	生徒個々の状況や学校生活・進路に関する要望等を職員間で共有し、支援教育に活かしながら対応に努めている。	12 (17.91%)	33 (49.25%)	19 (28.36%)	3 (4.48%)	67.2%		32.8%		
17	環境教育	環境問題意識の向上について	リサイクルや省エネなどの身近な環境問題への意識を日常的な指導を通じ養うため、教室をはじめゴミの分別を徹底させている。	18 (26.87%)	35 (52.24%)	12 (17.91%)	2 (2.99%)	79.1%		20.9%		
18		実践的態度の育成について	平素より全校一斉清掃の機会をとり、生徒に校内清掃や美化意識の徹底を図る一方、小まめな清掃用具の交換習慣を通して、施設・備品を大切にすることを意識付けの指導に努めている。	15 (22.39%)	37 (55.22%)	14 (20.90%)	1 (1.49%)	77.6%		22.4%		
19	授業	授業について	教員は授業に対する十分な教材研究・事前準備に努めている。	22 (32.84%)	37 (55.22%)	7 (10.45%)	1 (1.49%)	88.1%		11.9%		
20		授業の進度について	学習内容は、クラスのグレード編成に応じて、効果的に展開されている。	19 (28.36%)	41 (61.19%)	6 (8.96%)	1 (1.49%)	89.6%		10.4%		
21	社会性の育成	情報モラルの指導について	人権教育の観点からも個人情報やその取扱いについて、平素より機会をとり適切な指導に努めている。	15 (22.39%)	41 (61.19%)	9 (13.43%)	2 (2.99%)	83.6%		16.4%		
22		社会的モラル・ルールについて	学内外を問わず、他者に迷惑をかけないという観点より、社会的モラルやルール、エチケットについて、平素より機会をとり適切な指導に努めている。	21 (31.34%)	31 (46.27%)	13 (19.40%)	2 (2.99%)	77.6%		22.4%		
23	生徒指導	指導体制について	生徒指導に対して教員一人では抱え込むことなく、組織的に対応するよう取り組んでいる。	20 (29.85%)	32 (47.76%)	11 (16.42%)	4 (5.97%)	77.6%		22.4%		
24		家庭との連携について	生徒指導において、担任・学年、関係分掌は常に家庭と連携を取り、適切な両輪指導に努めている。	20 (29.85%)	39 (58.21%)	7 (10.45%)	1 (1.49%)	88.1%		11.9%		
25		電話対応	学校への電話を積極的にとり、言葉遣いや対応に気を使っている。	25 (37.31%)	36 (53.73%)	6 (8.96%)	0 (0.00%)	91.0%		9.0%		
26	生徒支援	学習指導について	学習指導においては、生徒の進路・進学希望を踏まえ、実態に即した指導に努めている。	21 (31.34%)	39 (58.21%)	7 (10.45%)	0 (0.00%)	89.6%		10.4%		
27		生徒把握について	個々の生徒について状況などを把握するため、各教員は平素より担任・学年との意思疎通を図るよう努めている。	21 (31.34%)	37 (55.22%)	9 (13.43%)	0 (0.00%)	86.6%		13.4%		
28	生徒指導	カウンセリング体制について	カウンセラーやカウンセリング室など、カウンセリングの環境・施設が整っている。	13 (19.40%)	43 (64.18%)	9 (13.43%)	2 (2.99%)	83.6%		16.4%		
29		不登校対策について	不登校生徒に対し担任・学年は組織的に対応・指導し、常に保護者と(場合によっては出身中学校とも)連携の上、適切な両輪指導に努めている。	21 (31.34%)	36 (53.73%)	9 (13.43%)	1 (1.49%)	85.1%		14.9%		
30	進路指導	進路指導について	生徒に将来の進路に関心を持たせる進路指導(キャリアガイダンス)や教育(学年毎の進路説明会)が適切に行われている。	13 (19.40%)	47 (70.15%)	6 (8.96%)	1 (1.49%)	89.6%		10.4%		
31			生徒の進路指導において、学年毎の保護者対象の進路説明会や担任による懇談等を通じ、保護者と連携を取るよう努めている。	23 (34.33%)	40 (59.70%)	4 (5.97%)	0 (0.00%)	94.0%		6.0%		
32	欠席過多	欠席過多生徒への取り組みについて	欠席過多の生徒に対し担任・学年は組織的に対応・指導するよう努めている。	21 (31.34%)	33 (49.25%)	12 (17.91%)	1 (1.49%)	80.6%		19.4%		
33			欠席過多の生徒には、担任・学年は常に家庭と(場合によっては出身中学校とも)連携を取り、適切な両輪指導に努めている。	24 (35.82%)	34 (50.75%)	8 (11.94%)	1 (1.49%)	86.6%		13.4%		
34	転・退学生対策	転・退学生を減らす取り組みについて	転・退学に至る迄に、担任・学年・場合に応じてクラブ指導者は家庭及び出身中学校と十分連携を取り、生徒への適切な指導に努めている。	22 (32.84%)	36 (53.73%)	8 (11.94%)	1 (1.49%)	86.6%		13.4%		
35	特別教育活動	生徒会活動について	生徒会活動を通じて生徒が主体的に活動できるような支援・指導に努めている。	17 (25.37%)	37 (55.22%)	12 (17.91%)	1 (1.49%)	80.6%		19.4%		
36		強化クラブや選べる課外活動について	強化クラブ活動にせよ、選べる課外活動にせよ、生徒自身が自らの将来を考え、主体的に活動に取り組めるように支援や指導に努めている。	22 (32.84%)	34 (50.75%)	10 (14.93%)	1 (1.49%)	83.6%		16.4%		
37		学校行事について	学校の教育方針に沿って計画・実施され、生徒の充実した学校生活、また人格形成や情操教育の一助となるよう取り組んでいる。	21 (31.34%)	39 (58.21%)	6 (8.96%)	1 (1.49%)	89.6%		10.4%		
38	教職員研修	授業研究について	生徒の実態・実情に即し、授業内容や教材について適宜職員間で意見交換をし、授業や指導に役立てるよう努めている。	15 (22.39%)	34 (50.75%)	16 (23.88%)	2 (2.99%)	73.1%		26.9%		
39		職員間の相互サポートについて	中高間の分掌移動時や経験の少ない教職員(新任を含む)をサポートする体制は整っている。	9 (13.43%)	24 (35.82%)	26 (38.81%)	8 (11.94%)	49.3%		50.7%		
40		研修について	人権問題や大学入試改革を見据え、必要に応じて講師を招聘し、効果的に学内研修に参加できる体制は整っており、積極的に参加している。	14 (20.90%)	30 (44.78%)	21 (31.34%)	2 (2.99%)	65.7%		34.3%		
41		研修成果の共有について	研修に参加した教員は、出来る限りその成果を他の教員と共有するよう情報や意見交換に努めている。	6 (9.09%)	31 (46.97%)	25 (37.88%)	4 (6.06%)	56.1%		43.9%		
42	生徒募集	生徒募集への努力について	学校現場と本部が一体となり、組織的に生徒募集活動を実践する体制が整っている。	20 (29.85%)	30 (44.78%)	13 (19.40%)	4 (5.97%)	74.6%		25.4%		
43			教職員一人ひとりが生徒募集について関心が持てるよう、職員会議やパンフレット等を通して適切な情報提供がなされている。	8 (11.94%)	24 (35.82%)	27 (40.30%)	8 (11.94%)	47.8%		52.2%		
44	広報活動	広報活動について	広報活動の重要性を鑑み、学校現場と本部がしっかりと連携をとり、媒体による広報活動はもとより、学内外で効果的・効果的な説明会等を開催している。また、強化クラブ生の勧誘に際しても、入試広報用のパンフレットを活用の上、出来る限りの説明を行い、学内の入試説明会との連動を図っている。	15 (22.39%)	33 (49.25%)	16 (23.88%)	3 (4.48%)	71.6%		28.4%		